

令和2年度第1回印西市学校適正配置審議会 会議録

- 1 開催日時 令和2年12月11日（金）午前10時～11時45分
- 2 開催場所 印西市役所4階 41会議室
- 3 出席者 桜井 繁光 委員、井上 愛一郎 委員、後藤 譲 委員、
磯 昌稔 委員、坂木 武伸 委員
- 4 欠席者 内田 圭子 委員
- 5 事務局 大木教育長、高橋教育部長、坂巻教育総務課長、平川教育総務課長補佐、
渡邊学務課長、寺島副参事、秋山係長、小森谷主査
- 6 傍聴者 1名
- 7 議 事 (1) 牧の原小学校の学校適正配置シミュレーション（案）について
(2) 印西市学校適正規模・適正配置基本方針の改訂について
(3) その他
① 船穂小学校の現状等について（お知らせ）
② 本埜中学校の現状等について（お知らせ）
- 8 議事録 （要点筆記）

事務局 本日はご多用のところ、当審議会の会議にお集まりをいただき、誠にありがとうございます。

会議に先立ちまして、何点かご説明とご報告をさせていただきます。

まず、配付資料の確認をさせていただきます。

配付資料といたしまして、会議次第、委員名簿、資料1、資料2、船穂小学校の現状等について（お知らせ）、小倉台小学校への通学区域の弾力的な運用に関するアンケート調査結果について（お知らせ）、本埜中学校の現状等について（お知らせ）となりますが、不足はございませんでしょうか。

<不足なし>

事務局 次に、会議の公開と傍聴規定についてでございます。

当審議会につきましては、印西市市民参加条例第11条第4項の規定により、原則公開とさせていただきます。

また、傍聴につきましては、同条例施行規則第12条第3項の規定に基づき、事務局が作成した傍聴要領に沿って受付しておりますことをご報告いたします。

なお、現時点での傍聴者は1名でございますが、会議途中で傍聴の希望があった場合は、随時、入室を許可したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

次に、会議の録音及び会議録の署名についてでございます。

当審議会の会議につきましては、会議録を作成する都合上、録音させていただきます。

きます。

また、会議録の署名につきましては、毎回2名の委員の方をお願いしており、本日は、内田委員と後藤委員になりますが、内田委員が欠席のため、後藤委員と磯委員をお願いいたします。

なお、会議録につきましては、ご署名いただいた後、市役所の行政資料室への設置やホームページへの掲載により公表いたします。

会議録の公表にあたりましては、発言者の氏名を伏して行いますことを申し添えます。

それでは只今より、令和2年度第1回印西市学校適正配置審議会を開催いたします。

はじめに、会議の開催についてご説明とご報告をさせていただきます。

印西市学校適正配置審議会設置条例第7条第2項において、審議会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができないと規定されております。

本日の出席委員は、6名中5名でございますので、同条例の規定に基づく定足数に達しておりますことから、ここに会議が成立いたしますことをご報告させていただきます。

それでは、会議次第に従い、会議を進めてまいります。

はじめに、次第の2、教育長あいさつ、大木教育長よりご挨拶申し上げます。

教育長 それでは、一言ご挨拶を申し上げます。

まず、年末の大変お忙しいところ、令和2年度の第1回目となります印西市学校適正配置審議会にご出席をしていただき、ありがとうございます。

さて、今回、皆様にご審議をお願いしたいのは、市内の牧の原小学校の学校適正配置シミュレーション案と平成28年10月に策定した印西市学校適正規模・適正配置基本方針の内容についての改訂についてでございます。

現在、牧の原小学校の学区内の住宅開発のスピードが当初予想していた状況よりも早く進んでおり、将来的には学級数が37学級くらいになるのではないかと予想しており、大規模校となるため、学校適正配置シミュレーションについてご審議いただきたいと思います。

牧の原小学校は開校して間もない学校ではございますが、既に教室の不足が想定されており、増築の計画を進めております。

それと、原小学校につきましても、学区内の住宅開発が牧の原小学校と同じような状況となっており、今後の対応を検討する必要があるため、現在、業者による児童生徒数の推計を行っているところでございます。

また、基本方針につきましては、児童生徒数の推移などを踏まえて、改訂させていただきたいと考えております。

本日は、その2点につきまして、ご説明をさせていただき、皆様から忌憚のないご意見を頂戴できればと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。

次に、今年度から新しい委員と事務局職員がおりますので、次第の3、委員及び事務局職員紹介に入らせていただきます。

それでは、委員の皆様のご紹介を行いたく、恐れ入りますが、自己紹介という形をお願いいたします。

それでは、委員名簿の順に桜井委員からお願いいたします。

<委員及び事務局の自己紹介>

事務局 次に、次第の4、会長あいさつ、井上会長よりご挨拶をいただきたいと思えます。

会長 本日は本年度第1回の審議会ということで、議題はその他を含めて、3つ用意されておりますが、委員の皆様からの忌憚のないご意見を頂戴できればと思えますので、よろしくをお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。

それでは早速、議事に入りたいと思います。

ここから先の進行は、井上会長をお願いいたします。

議長 それでは、次第の5、議事に入ります。

(1) 牧の原小学校の学校適正配置シミュレーション(案)についてを議題といたします。

事務局より説明をお願いします。

事務局 **【資料に基づき説明】**

議長 ありがとうございます。

ただいま、事務局から牧の原小学校の学校適正配置シミュレーション案についてご説明がありました。

それでは、委員の皆様からご質問、ご意見がありましたら、お願いいたします。

委員 令和3年度に牧の原小学校の教室の増築を行っていくということですが、それでも教室が足りなくなった場合には、隣接学区との通学区域の見直しを行うことになると思いますが、具体的には滝野小学校になるのでしょうか。

事務局 現在、牧の原小学校につきましては、将来的に37学級になる推計が出ておりますが、まずは増築の対応をしていく中で、今後の児童数の推計を注視し、必要

に応じて、更なる増築が必要であるのか、また、隣接する学校である滝野小学校又は西の原小学校への通学区域の見直しが必要であるのかを検討していくことになると思いますが、現時点では、通学区域の見直しの考えはございません。

議長 その他ございますか。

委員 近くに小学校があるという理由で住宅を購入している場合に、その後、教室数が足りないことにより遠い学校に行ってもらうことは精神的になかなか難しいと思います。

37学級になるということが予想されているのであれば、早めに通学区域の見直しを図っておいて、皆様に広報した方が良いと思います。

議長 ご意見ということでよろしいですか。

委員 はい。

議長 その他、ご質問、ご意見はございますか。

委員 牧の原小学校がかなり大きな学校になるとのことですが、進学先である滝野中学校はどのような状況になるのか教えてください。

事務局 滝野中学校につきましても、現在ある教室では足りないため、増築を考えております。

また、牧の原小学校の進学先の学区を分けて、一部の地区の中学校の通学区域を西の原中学校へ変更することを検討しているところでございます。

議長 今ご説明いただいた対応をすることで、牧の原小学校の増加分につきましても、滝野中学校で収容できるということでしょうか。

事務局 現時点では、そのように考えております。

議長 その他ございますか。

委員 先ほどもご意見がありましたが、いずれその学校の児童数が増えていくのか、そうではないのかということが、引っ越し等の前提になると思いますので、早く情報を公表できれば良いと思います。

議長 その他ございますか。

委員 西の原中学校に通学区域を変更した場合、西の原中学校は対応できるのですか。

事務局 現在、牧の原小学校の通学区域について、通学区域審議会で検討しているところでございますが、小学校はそのまま、一部の地区を西の原中学校に変更した場合に、増える生徒数を推計した結果、今の西の原中学校で対応できると考えております。

将来的に教室数が不足する状況になってしまった場合を考えても、滝野中学校につきましても、敷地の関係で更なる増築が難しい状況であることから、西の原中学校の増築を視野に入れ、検討を行っていくことになるかと考えております。

議長 確認ですが、牧の原小学校は37学級の対応ができる増築を行うのですか。

事務局 牧の原小学校の増築につきましては、1期工事として、鉄骨2階建て、約1,500㎡、普通教室11教室を増築する予定でございます。

普通教室の他に、配膳室、トイレ、ダムウェーター、昇降口の建設をいたしまして、令和4年4月1日に供用開始をする予定でございます。

増築後でも、37教室に達していないため、その後の児童数の推移を注視しながら、不足する場合には、2期工事を考えております。

議長 牧の原小学校は現在何教室ありますか。

事務局 教室数は18でございます。

議長 37学級というのは、現在、既に牧の原地区にその学級数になる子供が住んでいるということですか。

事務局 今後の住宅開発を全て見込んだ場合に、将来的に37学級になるという推計でございます。

議長 これ以上になる可能性はないのですか。

事務局 そのように考えておりますが、住宅開発のスピード等により、さらに増える可能性はあると思います。

議長 先ほど教育長のあいさつにありました業者による児童生徒数の推計値は、いつ頃わかりますか。

事務局 今回推計を委託しておりますのは、原小学校と西の原小学校と西の原中学校の

西の原中学校区についての推計業務でございまして、来年3月末までの業務委託期間となっております。

その中でも、原小学校の児童数がかかなり増えており、早急に増築を検討する必要があることから、原小学校の児童数については、できるだけ早めに推計を出してもらうことができないか協議をしているところでございます。

議長 最終的に37学級の増築をすることは可能なのですか。

事務局 1期工事により、11教室の増築を予定しておりますが、その後、37学級に対応するための増築工事を行う場合には、建築はできますが、グラウンドに建築することになると考えております。

議長 その他ございますか。

委員 学級増に対応する教員の確保はできるのですか。

事務局 県の方に常に児童数の報告をしており、必ず教員が配置されるようにしているため、不足することはまずありません。

ただ、現状として、個々の状況により、年度途中からの対応が難しい場合もありますが、基本的には学級数の増加により、教員数も増やしていくこととなります。

議長 他に何かございますか。

また、事務局から提案のありましたシミュレーション案以外に他の案の提案等はありませんか。

<意見等なし>

議長 それでは、事務局から提案のありましたシミュレーション案に決定をさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

<異議なし>

議長 それでは、決定させていただきます。

ただ、先ほど、委員の皆様から通学区域の変更をする場合には、早めに住民等に対する広報が必要ではないかとのご意見がありましたので、その点を踏まえて、進めていただければと思います。

続きまして、(2) 印西市学校適正規模・適正配置基本方針の改訂についてを

議題といたします。

事務局より説明をお願いします。

事務局 【資料に基づき説明】

議長 ありがとうございます。

ただいま、事務局から印西市学校適正規模・適正配置基本方針の改訂についてご説明がありました。

それでは、委員の皆様からご質問、ご意見がありましたら、お願いいたします。

委員 この基本方針の改訂版はいつ頃発行する予定でおりますか。

事務局 皆様から答申をいただいた後になると考えております。

議長 その他ございますか。

委員 小倉台小学校の学校適正配置シミュレーションについてですが、基本的には隣接する内野小学校と連携した通学区域制度の弾力的な運用を実施することになると思うのですが、今回の配付資料にある小倉台小学校への通学区域の弾力的な運用に関するアンケートを見ると、隣接学校区は船穂小学校になるということですか。

先ほどの説明では、小倉台小学校の学校適正配置シミュレーションは変わらないとのことでしたが、なぜ急にこのようなアンケートを行ったのですか。

事務局 このアンケートにつきましては、船穂小学校の保護者との意見交換会の時に、大規模校の中にも小規模校に行きたいと思っている方がいると思うので、意向調査をしてほしいという要望がありまして、小倉台小学校の1年生から5年生までの保護者を対象にアンケートを実施したところであり、小倉台小学校の大規模校の改善策としてアンケートを行ったものではございません。

隣接学校区につきましては、内野小学校や木刈小学校になると考えております。

議長 教育委員会としての方針は変わらないということによろしいでしょうか。

事務局 基本的には変更はございませんが、小倉台小学校の隣接する内野小学校と連携した通学区域制度の弾力的な運用の実施につきましては、現在は運用しているところですが、将来的に内野小学校の児童数の増加により、内野小学校の教室数が不足するおそれがあることから、小倉台小学校の児童数の見込み等を考慮し、令和5年度からこの弾力的な運用を廃止することを市の広報やホームページで

周知しているところがございますので、こちらの記載内容につきましては、改めて、修正をさせていただいて、確認していただきたいと思ひます。

議長 わかりました。
会議開始から1時間を超えましたので、ここで休憩を取りたいと思ひます。

<暫時休憩>

議長 再開いたします。
それでは、委員の皆様からご質問、ご意見はございませんか。

<意見等なし>

議長 こちらにつきましては、かなりのボリュームがありますので、委員の皆様を持ち帰っていただいて、次回、改めて、ご意見等をいただければと思ひますが、よろしいでしょうか。

<異議なし>

議長 それでは、次回、検討を進めていきたいと思ひます。
最後に、事務局をお願いをしたいのですが、1点目として、平成28年の基本方針策定後に取り組んできた学校適正配置の状況について、2点目として、検討対象校の学校適正配置シミュレーションの大規模校の学校施設の増改築の状況について、3点目として、統合した永治小学校、宗像小学校、本埜第一小学校、本埜第二小学校の子供達の状況についてを基本方針の中に記載することができないか検討をしていただきたいと思ひます。

事務局 わかりました。

議長 続きまして、(3) その他といたしまして、①船穂小学校の現状等について、②本埜中学校の現状等について、事務局より報告をお願いします。

事務局 **【資料に基づき報告】**

議長 只今、事務局から報告がありました。ご意見、ご質問はございますか。

委員 船穂小学校についてですが、保護者から存続させてほしいとの意見はわかりませんが、これまでも同じような状況の中で、永治小学校、宗像小学校、本埜第一

小学校、本埜第二小学校は統廃合を進めてきているのに、今回は、なぜ小倉台小学校にアンケートを行うことになったのですか。

事務局 宗像小学校の統合の時も、保護者からの存続を望む声がある中で、いには野小学校に同様のアンケートを実施させていただきました。

アンケートの結果としては、いには野小学校から宗像小学校に通学したいというご家庭は多くありませんでした。

今回につきましても、船穂小学校の保護者との意見交換会の中で同様のご意見があり、いには野小学校で実施したこともありましたので、小倉台小学校にアンケートを実施させていただいたところでございます。

議長 その他ございますか。

委員 実際に小倉台小学校から船穂小学校まで車で行って見たのですが、あの距離はなかなか子供を通わせることはできないのではないかなと感じました。

通学距離が長いと交通事故等のリスクも高くなるので、あまり考えられない気がします。

アンケートの結果を見ても、船穂小学校にスクールバスを出したとしても行く子供は少ないと思います。

小倉台小学校の保護者の中には、このアンケートを実施したことにより、船穂小学校に通学区域が変更になるのではないかと心配している人がいるかもしれませんが、このアンケートは小倉台小学校の通学区域を変更するために行ったものではなく、船穂小学校の保護者の意見を尊重して、今後の参考資料とするために行ったということによろしいのでしょうか。

事務局 はい。

議長 その他ございますか。

委員 アンケートの件ですが、船穂小学校の学区と小倉台小学校の学区が実際に隣接しておりますので、保護者からこのような意見が出たのだと思います。

議長 その他ございますか。

委員 参考までに、本埜中学校の部活動として、実際に学校で活動しているものは、男子は陸上と野球、女子は陸上とソフトテニスになると思います。

議長 他に何かご質問、ご意見はございますか。

委員 船穂小学校の今後の対応等についてに記載のある、早くても令和4年4月以降の統合になるというのは、教育委員会で提示している高花小学校との統合ということによろしいですか。

事務局 はい。

議長 その他ございますか。

委員 新型コロナウイルスの状況により、意見交換会が開催できていないとのことですが、本埜中学校の保護者や地域の方から早く意見交換会を開催してほしいなどの声はありませんか。

事務局 直接、保護者から教育委員会に話はありますが、本埜地区の学校を考える会から、今年度、地域の方を含めた意見交換会を早く開催した方が良いのではないかと意見がありましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、開催することが困難であることから、このお知らせにより、現状等をお知らせしたところでございます。

議長 お知らせにより現状報告した後に、何か反応はありましたか。

事務局 特にございません。

議長 その他、何かございますか。

<意見等なし>

議長 ないようですので、その他、事務局から何かございますか。

事務局 特にございません。

議長 本日の議題につきましては、全て終了しました。
進行を事務局に戻します。

事務局 ありがとうございました。
続きまして、次第の6、その他に入らせていただきます。
事務局から、連絡事項がございます。

<次回の会議日程及び委員報酬について説明>

事務局 事務局からの連絡事項は以上でございます。
その他ということで、委員の皆様からは何かございますか。

<なし>

事務局 それでは、以上をもちまして、令和2年度第1回印西市学校適正配置審議会を終了させていただきます。

長時間にわたりご審議をいただきまして、ありがとうございました。

会議資料

- ・ 会議次第
- ・ 委員名簿
- ・ 資料1 牧の原小学校の学校適正配置シミュレーション（案）について
- ・ 資料2 印西市学校適正規模・適正配置基本方針（改訂版）（案）
- ・ 船穂小学校の現状等について（お知らせ）
- ・ 小倉台小学校への通学区域の弾力的な運用に関するアンケート調査結果について（お知らせ）
- ・ 本埜中学校の現状等について（お知らせ）

令和2年度第1回印西市学校適正配置審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和3年1月5日

委 員 後藤 譲

委 員 磯 昌稔